

藤島地域で消防春季訓練

今年度から「機能別団員」を導入

鶴岡市消防団藤島方面隊（富樫正明・方面隊長、476人）の春季消防訓練が4月24日（日）、藤島体育館駐車場でおこなわれました。1昨年から庁舎や市議会議員、消防OBの出席を求めず、消防団と分署による訓練となつています。市では今年度から新

たに特定の任務にだけ従事する「機能別団員」を導入しました。消防団を引退したOB団員などが災害時に範囲を限定して活動するもので、日中に仕事で地域にいない現役団員の補完として活躍することがねらいで、報酬は年額6000円です。

各分団の通常訓練や演習、啓発活動に参加はありませんが、防災

資機材に慣れるために年2回の講習と実地訓練をおこないます。藤島方面隊では、梯子・纏振り隊として8人、第2分団（藤島農村部）と第4分団（八栄島）に各1人、第5分団（渡前）に2人の計12人が登録されています。市消防団の春季消防演習は5月21日（土）13時から小真木原運動公園南駐車場でおこなわれます。



ふじしま生き生きクラブが総会 新会長に大井茂氏を選出



昨年の総会で市連合会に統合し、藤島支部に加盟しているのは藤島地区8、東栄地区8、八栄島地区4の合計20クラブで会員は943人です。

役員改選では、新会長に大井茂氏（川尻）を選出しました。来賓として加藤鈺

鶴岡市老人クラブ連合会藤島支部（ふじしま生き生きクラブ）の総会が25日、藤島ふれあいセンターで開かれました。会長の鈴木紀生氏（小中島）が前日24日に急逝され、石川勝雄氏（上町）が会長代理を務め進行されました。

合併の傷み象徴の広告塔



国道345号沿いはえぬき看板が17日の強風で下地のトタンが破損しました。

しかし、撤去費用の予算は現在なく、その後の活用策もなく、合併の傷みを象徴する広告塔になっています。

一市議も出席し挨拶を述べました。

市では、他の部分にも傷みがあり、塔の看板部分を撤去したいとついでいます。

私の昭和 27

鈴木重雄（88歳・八色木）



（写真・武神千歳・昭和61年9月・75歳）

武神千歳さんのこと

その後、父が山居倉庫サヤ掛け人夫として働いたので米背負いとして雇われたが、血を吐き3か月で止め、東京駒込看護会に入り派遣看護婦として勤務し、良縁あつて、銀座で洋服生地卸屋をしている武神さんと結婚し、洋服店2店舗を経営する。疎開先は隣三助さんの茶室（離れ座敷に住み、藤島駅前洋裁店を開き、多くの子女に洋裁を教えた。武神さん家族はキリスト教に入信し、カウンスラー2級の有資格者である。

千歳さんは私の家の近所、石川富太郎家の生まれである。子どもの頃医者下と呼んでいた。明治初期まで漢方医であつたが子供がいないので富太郎さんを養子にとり、その長女が千歳さんである。千歳さんは東京に出て、昭和19年11月東京大空襲で焼きだされ夫婦で八色木に疎開された。銀座で洋裁店をしていただけあつて気品の優れた夫婦であつた。千歳さんが生まれた頃は漢方医も廃業したので生活も苦しかった。小学校6年卒業すると藤島小学校長今田直己先生宅に子守り奉公し小学校高等科課程を学んだ。

晩年（平成4年）、娘に連れられお墓参りの際、懇談することが出来た。雑誌のグラビア写真のモデルにもなったこともあるという聡明な美人であつた。

市では、他の部分にも傷みがあり、塔の看板部分を撤去したいとついでいます。

「戦争法廃止を求める統一署名」藤島で1861筆（4月26日）
ご協力に心から感謝します。署名は5月19日に国会に提出。さらに6月末まで継続。

アメリカは貧困の輸出国

(新町 齋藤留治)



pixta.jp - 15196235

り茶碗にお金を入れていく人が多かった。こんな生活を続けなければならぬ責任は犬には無いと私も時々カナダをどんぶりに入れてやったものでした。

バンクーバーにも桜の木が沢山あつて驚いたが、その木々が緑色に変わり暖かい季節になると、カナダ・バンクーバーの朝の街角のビル物の陰に横たわる路上生活者と思しき人達を見かけるようになった。

昼はどのように過ごしているのか知らないが、夕方、私がお世話になっている家に帰る頃になると路上に座り小さなどんぶり茶碗を手にお金を無心している姿を目にする。中には犬も一緒に飼っているの隣に座り「何か食べる物を…」と目で訴えているようにも見える。犬への同情心からか犬と同伴の人のどんぶ

ても歯科治療以外は無料だという羨ましい話。自己責任等と攻める必要はなく「困った時はお互い様」という。

駅前で新聞を売ったり空缶を集めて売ったりして結構金を貯めている人もいるようだということであった。

「齋藤、貴方もこのままバンクーバーで暮らせよ」と勧めてくれた。(アベ晋三氏がのたまう「日本の社会保障は世界一」は出鱈目)

日本もかつては総中流社会と呼ばれたがアベ政権によつてドンドン壊されアメリカのような不平等蔓延国に突き進んでいるように思う。

それを支える自公の議員さんはどう考えているのか、選挙の公認が怖くって何も考えないのか聞きたいものがある。

また日本もか！ 戦争する米国の“狂気”

—しんぶん赤旗を読んで 青山崇

しんぶん赤旗4月17日付読書欄、戦争法を施行し自衛隊員が海外で殺し殺される危険が現実味をおびる時、「親



殺し殺される国の“狂気”

しんぶん赤旗 4月17日付読書欄「戦争するアメリカ」の紹介文。著者は、1970年代から80年代にかけて、米軍基地の周辺で生活した経験がある。米軍基地の周辺には、貧困、犯罪、薬物取引、売春、児童労働、人権侵害など、様々な社会問題が存在している。著者は、米軍基地の存在が、これらの社会問題を助長していることを指摘している。

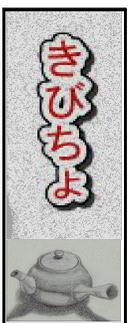
しんぶん赤旗2016年4月17日付

フイクション。平均年齢は19歳。「死ぬ覚悟がないなら、それを持たねばなりません」と説く従軍牧師。ある兵士は4肢を失い「勇者のセンター」という介護施設に入る。落成式で最高幹部の統合幕僚長は、「なくした4肢は」

を追ったもの、毎年240人以上の自殺、その背景に精神的傷を負った兵士が50万人もいるという。

②は①の記者が、これらの兵士らの帰還後

は、日常茶飯事であったという。



村祭りの改革

「♪村の鎮守の神様の今日は目出度いお祭り日」。豊作を祝う秋祭りですが、この地方は春祭りが多いようですね。

はお宮やお寺の広場は遊び場だったから、お祭りが宗教行事なんて思わないんですが、今はそうでもないらしい。▼かつては農家が多かったし職人と言う人も多かったから、組内で人手は間に合った。今は農家が減り職種も多様で、しかも若い者は休みがとりづらいト。

▼どこの鎮守様も五穀豊穡・家内安全などを祈るお祭りで、多忙な農繁期を避けて何回かその日は変わって、今になつています。

▼これも変化ではあるが、我が組が樽神輿を始めたのが最初だったか。今ではどこにでも立派な神輿があつて午後から子供らが祝うようになった。

▼今年、我が家が神宿をを受けた。当集落は当組と呼ぶお祭りを受けもつ組が5つあり、それぞれは10数戸だから順番に受けることにな

▼祭りの行列は町内を一周するんだが、組内だけでは行列の人が足りないのが例年のこと。そこは町内会の役員等が補ってきたが、組自体で神宿を探すのが難しくなってきたのが最大の問題なのだ。

▼これは様々な条件が整わなければ受けられないから、一生に一度の有り難く目出度いことなのですが、近頃少

▼神宿をどうして指定するか。今・抜本的な改革の構想が、氏子代表たちが練られ始めたのです。(石川)

①『兵士は戦場で何を見たのか』、②『帰還兵はなぜ自殺するのか』、③『グアンタナモ収容所 地獄からの手記』、④『CIAの秘密作戦』。

①②④は米国記者の著作、③は収容された男性の手記を入手し出版したものである。

①はイラク派遣の米国兵士らを追ったノン